



手に取った人が笑顔になること、それを想像しながら作ることが大事。

01 FACE

株式会社マイファースト
吉田 ひろこ 氏

02 VOICE

映像制作
萩原 淳 氏

03 EventReport

第36期報告会
一泊研修会
ファミリー研修会
署長講演会

04 NewMember

入会メンバー紹介

公益社団法人 町田法人会青年部会
東京都町田市薬師1-9-20 第二本沢ビル4階 TEL: 042-726-2453 FAX: 042-724-5858 URL: www.hojinhai-nachidori.jp
ザ・青年タイムス Vol.60 発行日: 2015年11月5日 発行: 公益社団法人 町田法人会 青年部会 総務・広報委員会 題字: 三橋信介 制作: WEBTRUST

03 EventReport

イベントレポート 地域貢献で地域と企業がつながる

1 税金紙芝居

2015年 3月26日 子どもセンター「ただON」
参加者 143名

町田税務署担当官の解説のあと、町田法人会でお馴染みの「さるびあ亭かーこ。」さんのオリジナル税金紙芝居(かねしばい)「クイズだぜい」を行いました。雨宮前部長体制の最後の事業とあって、部役員も多数参加。参加された大勢の子供達も真剣に聞き入って、かーこ。さんのトークをみ、税について学びました。

2 第36期報告会

2015年 5月12日 ホテルラポール千寿閣
62名

役員改選に伴い、前任の雨宮さんから田中新部長にバトンタッチ！雨の中62名のみなさんに参加をいただきました。大役を引き継いだ田中新部長の挨拶も緊張気味。第1部の講演会では、慶應義塾大学スケート部ホッケー部門の浅沼 芳征前監督から熱いお話をいただき、新体制の門出を祝っていただきました。

3 わんぱく相撲

2015年 5月16日 町田総合体育館
参加者 200名

JC主催「わんぱく相撲 町田場所」に今年も出展しました。ちびっ子たちが試合の合間にたくさん法人会ブースを訪れて、税金クイズをして予定していた200名分の景品はあっという間に無くなってしまいました。ちびっ子たちの熱気に押されて、部会役員もてんやわんやでしたが、今年も無事に租税教育PR活動を終えることができました。

4 新旧役員会(一泊研修会)

2015年 7月15日 銘石の宿 かげつ
37名

山梨県石和温泉にて、朝から有志でゴルフ親睦会を行い、夕方の研修会から夜の懇親会までエネルギーあふれる活動を行いました。翌朝は関東台風直撃というオマケ付きで、東京に向かう道が全面通行止めになる事態となり、中には帰りに6時間かかった人も。帰路まで緊張感ある思い出深い研修旅行になりました。

5 境川クリーンアップ作戦

2015年 7月26日
11名

有志11名が集まり、今年も「境川クリーンアップ作戦2015」に参加。森野地区沿いを清掃しました。箱根駅伝優勝の青山学院大学の選手達も参加しており、年々学生さんが増え会場もどんどん広がってきています。晴天でもとても暑く、参加された方はしっかりと水分補給しながら頑張りました。参加された皆さん！お疲れ様でした～！

6 忠生小学校サマースクールで租税教室

2015年 8月26日 町田市立忠生小学校
参加者 29名

租税教育ならぬ…租税教室！夏休み期間中の小学校校舎を大活用して、子供達と一緒に税金のお勉強をしました。町田税務署の統括官と調査官から税について説明いただいた後、かーこ。さんの税金紙芝居。その後、「税金かるとも初お披露目。「1億円」は、ここでもやっぱり人気でした～♪

7 ファミリー研修会

2015年 8月30日 相模湖プレジャーフォレスト
51名

大型バスで会場に行く。現地では合流する家族ら等、さまざまでしたが夏休み最後の日曜日に、火おこし体験・キャンドル作り・バームクーヘン作りなど、初めての体験が盛り沢山あって子供たちは、真剣に作業していました。スイカ割りでは、大へん盛り上がりすぎて、スイカに当たらなくても大きな歓声が上がっていました。

8 署長講演会&署幹部との意見交換会

2015年 9月11日 町田新産業創造センター
57名

町田税務署長の芳西さんによる講演会を開催。演目「日本の租税収入と税目 酒税の占める割合と役割」では、酒税担当と役割では、酒税担当でなければ知り得ない秘密もお話してください。参加者一同、大変興味深く拝聴しました。意見交換会では、税務署幹部の皆さんと活発に意見交換ができ、とても有意義な時間を過ごされました。

04 NewMember

入会メンバー紹介 2015/02~2015/09

attic camellia works(株) 沖垣 啓さん	くらしのデザイン研究所 長谷川 泰且さん	(有)中尾音楽学院 和田 智恵子さん	(株)アサクス 草垣 卓郎さん
ファイナンシャル・オーシャン(同) 田口 善之さん	積水ハウス(株) 町田支店 沼田 謙治さん	(同)プランス 高井 大輔さん	(有)G 刑部 清海さん
SMBC日興証券(株) 宮下 永吉さん	三菱UFJモルガンスタンレー証券(株) 田端 翔太さん	(株)飯田屋本店 飯田 洋右さん	(株)サクシード 関 浩佑さん
(有)ザザ 羽富 裕介さん	(株)サンアイ忠生 鈴木 伶奈さん	(株)ブリッジ 川村 真也さん	(株)ハイウェル 堀 貴麿さん
普門寺別院大遍普創 濱田 淳史さん	(株)プリンシプル自動車 花岡 信旨さん	(株)ユーアス 城山 悠さん	吉元行政法律事務所 吉元 和俊さん

手に取った人が笑顔になること、それを想像しながら作ることが大事。

株式会社マイファースト

吉田 ひろこ氏

Photo/Hagiwara Report & Text/Asanuma

大手電機メーカー10年勤務から、主婦生活を経て、自らの経験を活かして作ったオリジナル作品「はじめての傘®」で2013年2月のインターナショナルギフトショーへ個人事業主として出展。そこで本企画商品が、見事コンテスト準大賞に選ばれ、同年3月に「株マイファースト」を起業。9月新産業創造センターで行われた「まちだ女性創業スクール」でも講師を行うなど、現在、主婦起業家として各方面で注目され、活躍されている吉田ひろこさんにスポットを当ててみました。

―主婦業をしながら「はじめての傘®」を作案した経緯をお聞かせください。
最初は、全てがビニール製で、野外コンサート会場などで使用できる傘を思いつきました。そこにミュージシャンの絵やロゴをプリントすれば、コンサートグッズとしても成立するだろうと。
とりあえず試作品を作ってもらおうとあちこちの工場を片っ端から連絡しました。ほとんどの工場に断られる中、話を聞いてくれるビニール工場を見つけました。そこがいわゆる職人気質な工場で、最初は門前払いされましたが、何度も通った結果、どう

にか試作品を作ってもらえることになり、しかもそれがとても良い出来だったんです。ただ、簡易な傘としての実用性と価格を考えたとき、コンビニで売っているような傘には太刀打ちできないと思いついて。
改めてこの傘の有 용性や、売りがどこなのかを見つめ直した結果、鉄などの骨組を一切使っていない、安全な幼児向けの傘として位置づけるのが良いのではないかと考えました。そこで、周りのお母さん方に集まって頂いて意見を聞いたりしながら、改良を加えて現在の形になったんです。

―起業されてから何か苦労した点やハッピーング等がありましたか？
商品化を決定して法人化し、問屋も決まって、商品も量産でき、販売するところまでどうにかこぎつけたと思ったのですが、そこからはハッピーングの連続でした。まず、海外の工場で量産して輸入する際に、傘としての実用性が問われて商品が玩具扱いになったんです。ところが既に契約していたのが玩具の問屋ではなかったため、玩具のバイヤーとの接点がなく商品を売るための棚を確保できないという事態に陥りました。また大手との取引は商品の検査規定が厳しかったうえ、実際に自分たちで検品して問題があると感じた物は全てリパッケージしました。更に、メディアに多く取り上げられた時期には既に大手が取り扱ってくれていたので安心していたら、実はまだ販売されてなくて、お客様から買えないというクレームを頂いたりとか。とにかく問屋と大手とがうまく機能せず、止まっていた期間が長かったように思います。



株式会社マイファースト
吉田 ひろこ氏

会社情報

- 社名 株式会社マイファースト
- 代表者 吉田 ひろこ
- 本社 東京都町田市金井8-29
- Tel 042-708-9300
- Mail info@my1st.jp
- Url www.my1st.jp

はじめての傘®

―その苦労して生み出した商品を、「インターナショナルギフトショー」に出展された訳ですが、その理由などは？
形になるまで苦労したということもありましたし、自分が手掛けて作ったものを、まずは問屋やバイヤーが集まる場所で評価してもらいたいと思えました。それに、実際に商品化して売れるかどうか、プロの方々を目で見てもわからないと分らないと考えると、商品化の道が見えてくると思っていました。そこで運良く新製品コンテストの準大賞を頂くことができ、その場で300社ほどと名刺交換させていただき、沢山の引き合いも来て、商品化して販売することを決意しました。

―お客さんの声も届かなければ、お店でどう取り扱ってもらえてるのかもわからない。そんな状態が長く続いて、自分で何のためにやっているのかわからなくなっていた時期もありました。
お客さんの声も届かなければ、お店でどう取り扱ってもらえてるのかもわからない。そんな状態が長く続いて、自分で何のためにやっているのかわからなくなっていた時期もありました。



映像制作
萩原 淳氏

2014年3月入会

映像制作をしております萩原淳と申します。私は町田生まれの町田育ちで、町田二小、町田二中、山崎高校と進み、大学時代や社会人になってからも町田から離れたことはありません。
大学卒業後は劇場公開映画やテレビドラマの制作現場で約16年間働いていました。4年ほど前から個人での映像制作事業に舵を切りはじめ、昨年より地元町田に腰を据えての事業展開を始めました。
現在は企業・店舗・商品・プロジェクトなどのPR動画の制作をはじめと、ケーブルテレビ用の番組やCM、販売用DVDなどの企

画制作を行っています。また、イベントや式典などの記録(動画&写真)や商品などの写真撮影もお引き受けしています。
セールスポイントは、映画やテレビドラマなど50本以上の制作に携わって培った現場力と演出力です。更に、小規模ながら撮影・照明・録音・編集の各機材を所有し、個人経営ならではの機動力でクオリティーの高い映像をお届けいたします。
この数年で映像の世界は大きく変化し、以前は高額かつ大規模でしか制作できなかったものが、現在では低額かつ小規模で制作できるようになりました。多くの方に映像の有

性を理解していただき、事業や私生活でご利用していただければと思っていますので、どんなことでもご相談ください。
ずっと町田に住んではいたものの、町田法人会に入会し青年部会を中心に活動するようになって再認識する町田のことが多くありました。そして個人事業主として、様々な事業を営む方々と知り合い、つながれることを非常に心強く感じています。
今後とも宜しくお願いいたします。

―商品開発する上での「拘り」などはあれば、手に取った人が喜ぶこと、笑顔になること、それを想像しながら開発することです。自分にとって一番身近にあるものが子育てですから、こういうものがあれば自分と同じようなお母さんが喜ぶだろうとか、そういう思いを持ちながら作ることが大事だと思っています。また、頭の中や紙ベースであれこれいじるのではなく、自分の思いや考えは試作品でもいいのでとにかく形にしないとだめだと思っています。

―仕事をされる上での、町田市との関わりは？
2013年度町田市トリアル発注認定商品に認定されたことがきっかけで、関わりを持つようになりました。そこでの縁がきっかけで町田新産業創造センターに登録して、町田の企業家の方々と知り合うようになりまし。同じ世代の企業家の方々となかなか面識が持てなかったのですが、そ

のように相談したところ法人会青年部を紹介して頂き、それからはたくさんの同世代の方々とお話できるようになりました。

―実際に今の法人会での活動はいかがでしょうか、何かに活かせていますか？
青年部への参加をきっかけに法人会へ積極的に顔を出さようになってからは、とにかく仲間が増えてとても心強く感じています。同じ年代の人も多くですし、また話してみると同じような悩みを抱えている人もいらっ。しゃいましたし。起業して苦労したり悩みを抱えているのは自分だけじゃないと分かったと言いますか、立場や業種が違ってもそういった話ができる仲間ができたことはとても良かったと思っています。

―実際、起業後にあまりにも想定外の事が起こり過ぎて、落ち込んだり嫌になっていった時期もあったのですが、法人会で出会った人たちに、止まっている場合ではない、へ

こんである場合ではないとハッパを掛けて頂きました。そのおかげで、自分の商品を知ってもらってお客様に笑顔になって欲しい、喜んでもらいたいという原点を思い出し、その夢を叶えるために自分の中で止まっていたものがまた動き始めたという実感があります。

―今後やっていきたいことなど、展望について聞かせてください。
先日も創業スクールで講演をさせて頂いたのですが、今までの自分の経験や苦労を伝えることで、企業を志す人たちが良いスタートを切る一助になれば、と思っています。機会を頂ければ、そうしたセミナーや講演活動を積極的に行なっていきたいと考えています。

―本業の面では、今まではとにかく自分が作ったものを商品化するのが目的で、大手ばかりに拘って周りがよく見えなくなっ

いたように思います。これからは、ちゃんと取り扱ってくれる人やお店を自分で営業して探していかなければならないと考えています。また、商品を他の何かとセットにして販売したり、合同でイベントを企画したり、自分以外で商品やサービスを提供しているところとコラボレーションすることで互いにメリットになるような仕組みを考えたいです。仲間と一緒に何かをやりたい、何かを作り上げたいという思いが強かったので、町田で知り合えた人たちと一緒にそうした事ができれば最高だと思っています。

―貴重なお話、有難うございました。
町田を起点に、夢を持って起業される方が増えたり、その先、様々なコラボや企画が生まれると楽しみです。吉田さん、これからの更なるご活躍を期待しています！